



ピンクのジュウタン鮮やかに

シバザクラが見頃に

汐見公園のシバザクラが4月中旬から見頃となっています。ピンクのジュウタンで敷き詰めたいという想いで、昨年秋、まち協メンバーと三国中の生徒ら約30人のボランティアが苗を植栽しました。想いを込めたシバザクラはきれいな花を咲かせています。

三国北小児童とピオラ植栽

生活環境部会

「まちを花で飾ろう」。ピオラの植栽が3月14日、三国北小で行われました。

1年生33人が生活環境部会員、卒業生児童と一緒にピオラの苗100株を丁寧に植え付けていきました。卒業生は先輩らしく1年生と和気あいあいと話しながら植栽を手伝い、プランター30個余りに紫や黄色のピオラをきれいに植えました。

三国北小、三国コミセンに置かれ、児童や住民の目を楽しませています。



令和7年度 みくに地区まち協 主な事業計画

- 5月3日 (土) 芝桜除草作業(毎月第1土曜)
- 6月上旬 アサガオの苗植え(三国北小児童と)
- 6月8日 (日) 歴史散策「三の部」
- 6月22日 (日) 防災ミニ教室①
(全5回 来年2月まで)
- 7月6日 (日) 健康ウォーキング
(三国海浜自然公園～雄島)
- 8月～10月 みくに写真絵日記募集
- 9月7日 (日) 防災備蓄倉庫確認
- 9月13日 (土) 神明社三国節輪踊り
- 10月18日 (土) ハッピーハロウィン
- 10月25日 (土) 芝桜植栽事業(汐見公園)
- 11月2日 (日) ディスクゴルフのつどい
- 11月中旬 エッセル坂クリーン作戦
- 12月1日 (月) カンタケ栽培講習会
- 3月中旬 ピオラの苗植え
- 3月14・15日 (土・日) みくにワイワイまつり

※日付が変更となる場合があります



令和7年度 みくに地区まちづくり協議会総会

みくに地区まちづくり協議会の令和7年度総会が、4月15日(火)三国コミュニティセンターで104人(委任状26人)が参加して開かれました。

倉橋光一会長のあいさつの後、令和6年度事業収支決算、会計監査を報告、令和7年度の事業計画案、予算案について説明があり、全会一致で承認され、令和7年度みくに地区まちづくり協議会が新たにスタートしました。

令和7年度 みくに地区まちづくり協議会役員

会長……	倉橋 光一	みくに大好き部会長…	山本 達雄
副会長・会計…	大崎 央之	生活環境部会長…	高崎 専求
副会長……	池端 忍	防災・安心部会長…	阪口 茂憲
副会長……	大和 久米登	健康福祉・育成部会長…	石丸 博巳
副会長……	摩寿意 芳行		
事務局長……	山田 喜一郎		
事務局次長…	谷川 辰夫		



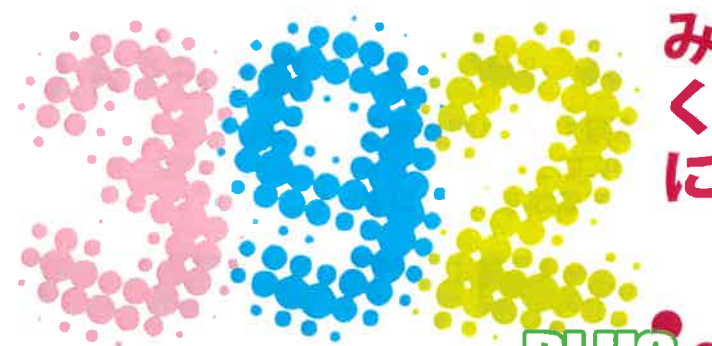
つづやき

まち協のいろんなイベントに参加するようになったのは、何年か経過後、はじめは馴染めるか不安でしたが、「意外と楽しいな」と感じるようになりました。

ありがたいことに名前を呼んでもらい、話しかけてもらい、仲間に入れてもらえたなど、自己満足に浸っていました。

が、ふと気づいてしまった。皆さんの名前を覚えていないことに。なんてことかと反省し、次こそはお名前を覚えて話しかけようと小さな野望を胸に、次のイベントに参加したいと思っています。

(純)



まち協だより 75号 発行 25.5.15

みんなのくふうでにぎやかに…

楽しく一緒にまちづくり
みくにの魅力をプラス!!

■汐見公園のシバザクラ満開
■北小児童とピオラの植栽
■まちづくり協議会総会

編集 みくに地区まちづくり協議会
事務局 三国コミュニティセンター内
坂井市三国町神明1丁目4-2 082-6400
mikuni-k@mx3.fctv.ne.jp



みくにワイワイまつり にぎわう

3月15日(土)、16日(日)



「ワタシのお店」大繁盛



「スライム作り」チビっ子も楽しむ

三高生スイーツ「らっきよん」デビュー

三国高校地域探究部とみくに地区まち協がコラボして開発したスイーツ。生地にラッキョウを練り込んだパウンドケーキを「らっきよん」と名付け、みくにワイワイまつりで試食してもらいました。

みくにワイワイまつり

イベントや食
盛りだくさん

みくにワイワイまつりが3月15、16の両日行なわれ、たくさんの人でにぎわいました。メインの16日には子どもフリーマーケットが開店。ゲームや食のコーナーなどもあり、住民の笑顔があふれていました。

お菓子すくい。みんないっぱいすくっていました



はしで豆取り、難しいな

狙いを定めて慎重に



歓声
笑顔
舌鼓



輪投げに真剣な表情



ワークシヨップ。親子で美味しいパン作りに挑戦。焼きたての味は格別

見守り活動啓発の花苗配布。毎年人気のコーナーです



「坂井ぼや丸」もお目見え。やはりみんなの人気者



今年もステージではいろいろな自主講座の学びの成果が発表されました



まらせるなど、日常生活に起る乳幼児や高齢者の事故に対処する講座(写真上)もありました。

防災安心部会の救命救急講座は家庭内で起こる身近な事故も想定して行われました。来場した主婦ら20人が参加しAEDの使い方、心肺蘇生の方法などを学びました。

日赤支部の吉岡光枝さんの指導で、呼吸を確認しながらの胸骨圧迫、AEDのメッセージに従いながらの操作など、人命を救うための措置を人形を使いながら勉強しました。

身近な危険を防ごう！
救命救急講座

らっきょん試食アンケート

- らっきょんの味はいかがでしたか？
とても良い67%
まあまあ良い28%
よくない5%
- ラッキョウの味を感じましたか？
とても感じた32%
まあ感じた45%
感じなかった23%
- らっきょんをまた食べたいですか？
食べたい84%
どちらでもよい16%
食べたくない0%

らっきょんの試食いかがですか？



●自由意見

- ・ラッキョウを使用したアイデアがGood！応援してます！
- ・ラッキョウの味がちゃんと残っていた
- ・商品化を楽しみにしています。
- ・もう少ししっとり感がほしい。
- ・チーズ感、大きさ問題なし。ワインのおつまみに良い。かなり美味しいです。

高校生らのアイデア実現

「ラッキョウの量はどのくらいですか？」あれこれ試行錯誤



ラッキョウを使ったパウンドケーキ「らっきょん」。地元の特産品を生かしたスイーツを開発しようと、昨年末から三国高地域探究部にみくに地区まち協が協力して取り組んできました。

甘くてしょっぱい味

にアクセントをつけ、

だ酢漬けのラッキョウを練り込み、いろいろな香辛料を使い試作を重ねてきました。生地にチーズや黒こしょうを加えることで、味にアクセントをつけ、最後にアイシングでコーティング。甘くて少ししょっぱい味に仕上げました。



会場で、らっきょんをPR

珠洲市で防災研修会

昨年1月1日の能登半島地震。津波の被害に襲われた石川県珠洲市の住民は突然の災害にどう対処したのか。そして1年以上が経過した被災地はどうなっているのか。防災安心部会は3月20日、珠洲市の「復興支援ツアー」に参加しました。

地震のつめ痕 今も



被災したボランティアが現地を案内、参加した23人が仮設住宅や市街地の様子を見て回りました。さらに地震当日、混乱する避難所の状態、半年以上にも及ぶ避難生活の苦労など貴重な体験談を聞きました。珠洲市の人口は約1万3

珠洲の名所だった見附島。3メートル弱の津波で3分の1が崩れ、その形は大きく変貌した

津波が押し寄せた鶴飼地区。住宅街は荒れ果てた広場に変貌した。再建される計画もない。「もつこに住みたくない」という人が多い



000人でしたが、震災後は6700人に半減。被災者の話では災害当時、避難所では想定外のことはかりでしたが、命を救うには「とにかく訓練が大切」ということです。避難所で先頭に立ち食事の準備や指導した若い女性は、人間関係や食料の調達などの苦労を振り返り「指揮を



寺院の門は今でも倒壊したまま。銅板は盗難にあったという



多くの住民が住む仮設住宅。いろいろな行事もあり町内会のようにもある

とる人間はボランティアでは限度がある」と強調していました。津波に襲われた海岸沿いの住宅街は住居がなく広い空き地になったまま。案内したボランティアは住民が一体になった動きに「みんな復興しようという夢があれば、どうにか頑張れるんですよ。」この一言が心に響きました。